

北摂フォトロゲイニング2025
2025年12月7日(日)

写真には、撮影者以外のメンバー全員を入れて撮影してください。
(個人クラスは除く。ポーズは自由。)
紹介文は一般的な説明であり、その他に諸説あるものもあります。

得点	写真	紹介文
8		大阪医科大学別館 ヴォーリズ設計の講堂・講義室。昭和5年の竣工から改造を経て平成17年まで医学・看護学教育に使用され、平成18年に館内に歴史資料館が設置された。国登録有形文化財。 大阪医科大学の構内に入って撮影。
9		四角い墓 弥生時代、周辺に多数造られた方形周溝墓を復元したもの。方形に溝を掘り、その土を中央に盛り上げて造られた集団墓地で、家族と考えられる約2～5人を同じ墓に埋葬。 説明板も入れて撮影。
10		高槻グリーンプレイス 2025年5月にオープンした「毎日が便利なこと・うれしいことに出会える」商業施設。気軽に参加できる体験型イベントや、本大会の会場である安満遺跡公園とコラボしたイベントなども実施。本大会協賛。
11		関西大学高槻キャンパス 2010年4月開設。初等部、中等部、高等部、社会安全学部、大学院社会安全研究科がある。 北門(正門)を撮影。西門と間違えないように。
12		関西将棋会館 建物の老朽化に伴い大阪市福島区から移転。2024年12月3日にグランドオープン。1階は将棋道場と売店で、一般人でも自由に入れる。 会館名を入れて撮影。
13		高山右近顕彰碑 キリシタン大名高山右近の顕彰碑。1949年に商工会議所がある場所に建立されたが、カトリック高槻教会に移設された。教会内に入れない場合は、道路から撮影。
14		花の井(山下水) 能因法師が日常生活に使用していたと伝わる井戸。別名山下水(やましたみず)。能因法師の歌中にも詠まれている。
15		伊勢寺 三十六歌仙の1人で平安中期の女流歌人、伊勢の晩年の住居跡。天正年間に高山右近の兵火で焼失したが、寛永年間に再興される。高槻城主和田惟政の墓もある。 石段と石碑を入れて撮影。
16		高山右近像 高槻城主の1人、キリシタン大名高山右近のブロンズ像。美術彫刻家・西森方昭氏作。城は明治4年廃藩置県により廃城。石垣などは鉄道建設(今のJR京都線)に使用された。 東側から撮影。
17		夜啼石 磐手社神社にある石。高槻城主永井近江守の老臣長田文八郎が境内にあった奇石を自宅で持ち帰るが、毎夜「あま(安満)えいのう。あま(安満)えいのう」と囁くので元の境内に戻したという。
18		清水池 噴水のある池。北側の公園内には、多目的広場、遊具、コミュニティセンターなどがある。 池の南東側から島を入れて撮影。
19		宮之前東通学橋 安威川にかかる歩行者・自転車用の橋。 東端から安威川を入れて北方向を撮影。

得点	写真	紹介文
20		安満山古墳群 B2号墳 40基にものぼる安満山古墳群のうち、標高120mの急峻な斜面地に築かれた直径14mの円墳。築造は6世紀後半。 説明板も入れて撮影。
21		Patisserie Yushin JR高槻駅の南にある焼き菓子とケーキのお店。旬のフルーツをふんだんに使ったケーキがおいしい。本大会協賛店。 12:30～13:30と14:30～15:30の各60分間、計50人に焼き菓子1個をプレゼント。
22		嶋上郡衙跡 約1300年前、律令制時代の摂津国嶋上郡(高槻・島本)を治めた役所跡。当時の様子がわかるよう。その中心部の推定モデルを1/3に縮小して表示。 南東の角から柵内に入り、南側の説明板を入れて北方向を撮影。
23		服部連塚 住宅に囲まれた円墳。5世紀中頃に全国の織部を統率した服部連(はっとりむらじ)の墓と伝えられている。近辺の地名「服部」は「はたおりべ」由来とされる。 説明板を入れて撮影。
24		道の分岐 太閤道ハイキングコース入口方面へ降りる道の途中にある分岐。「磐手橋←→太閤道・悠久の丘」と記載された 道標を入れて撮影。他の場所にも分岐と道標があるので間違えないように。
25		淀川維持区域標石 内務省が淀川の管理区域を明確にするため、昭和6年に芥川の堤防上に設置していた標石。芥川に関する歴史資料として国交省から寄贈されたのを記念して、あくあびあ芥川の南側入口に移設。
26		タチノ地下壕跡 崩落が続く30数本のトンネル群は第2次大戦中、陸軍の貯蔵庫(高槻地下倉庫：暗号名タチノ)として工事が開始され、後に川崎航空機工場とされたものの、完成前に敗戦を迎えた。強制労働という負の側面をもつ。 銘板を入れて撮影。
27		彫刻の郷墓園 現代アート的な彫刻のある墓園。 影像2体(入らなければ左の1体)を入れて撮影。
28		大道法師足跡塚 かつて高さ約1.2m、径約12mの塚があり、巨大な足跡のある石があったといわれる。大道法師が誰かについては諸説あり。現存する碑は1811年に再建されたもの。
29		殿岡神社古墳 宇賀御魂神を祭神とする殿岡神社の境内にある径約20mの円墳だが、社殿建設により墳丘が削られている。 石室入口を入れて撮影。
30		展望所 悠久の丘から太閤道ハイキングコースに登るルートの途中にある。ベンチもあって、天気によければ六甲山系まで展望できる。誰が置いたかわからない 多数の奇妙な飾りを入れて撮影。
31		安威城跡 土豪安威氏によって鎌倉時代末期に築かれた城の跡。外郭は、今もその多くが竹林になって旧地形を残している。 城跡を示す石碑を入れて撮影。

得点	写真	紹介文
32		塚脇F1号墳 6世紀後半から7世紀に築かれた塚脇古墳群約50基中最も古く、規模も大きい。特殊な墳丘や豪華な副葬品から、渡来系の機械技術指導者が葬られたとみられる。 北東端から撮影。
33		新池ハニワ工場公園 5～6世紀の遺跡で、埴輪窯18基と工房、工人集落かななる日本最大級の埴輪工場跡。今城塚古墳や太田茶臼山古墳の埴輪はここで造られた。工房2棟、窯2基が復元され、窯1基は発掘中の状態で展示。 復元された窯2基を入れて撮影。
34		坐禅石 太閤道ハイキングコースにある上部が平らな岩。
35		安岡寺 如意輪観音を本尊とする天台宗系の寺。775年開成皇子の創建と伝えられる。木造千手観音坐像は国の重要文化財。
36		今城塚古墳 全長約350m、後円部径約100mの6世紀前半では最大級の前方後円墳で、二重の濠をもつ。継体天皇の真の陵と考えられているが、墳丘に自由に立ち入り、日本最大の家形埴輪や精緻な武人埴輪が出土。 前方部にある5番の石壁を入れて撮影。周辺にある同様の石壁に注意。
37		ビックミルチ 明治大阪工場にあるミルクチョコレート(ミルチ)を模したプラスチック製巨大広告看板。高さ27.6m、幅165.9m、本物の約38万枚分の大きさ。ギネス記録認定。 JR京都線の線路越しに撮影。
38		薩喜庵 真上店 本大会協賛店の和菓子店。2023年1月の王将戦では、「はにたん最中」が2日目のおやつとして羽生善治九段に選ばれた。 先着50人に高槻ようかんをプレゼント(味は選べません)。
39		春日神社(東天川) 春日大社の一座であったが、菅原道真が左遷の時に立ち寄った縁から菅公を合祀。上牧、鶺鴒、井尻各村の鎮守として信仰された。大正4年に神奈備神社を合祀。 鳥居を撮影。
40		塚原E1・E2号墳 公園にあるただの盛り土に見えるが、墳丘が接するよう並んで築造された直径約16mの円墳。E1号墳は6世紀中頃、E2号墳は6世紀末頃の築造。 説明板とベンチを入れて撮影。
41		安威川ダム左岸展望台 安威川ダムの全容を上部から展望できるスポット。 ダムの堤体と、QRコードが掲載されたプレートも入れて撮影。
42		阿為神社 社伝によれば、藤原鎌足の勧請で創建されたと伝えられる古社。藤原氏の氏神として信仰された天児屋根命(あめのこやねのみこと)を祀っている。
43		太田茶臼山古墳 全長226m、後円部径138m、周囲に濠をもつ5世紀中頃の前方後円墳。宮内庁により継体天皇陵に治定されているが、実際には今城塚古墳が真の陵と考えられている。

得点	写真	紹介文
44		摂津一ノ宮神社 五穀豊穡「食物の神」とされる豊受大御神をご祭神とする平成生まれの神社。 奥にある本殿を撮影。
45		阿武山古墳 昭和9年、京大地震観測所建設の際に偶然発見された。地下の石室に埋葬されていた男性遺体の骨折痕や、金糸で刺繍された冠帽などから、被葬者は藤原鎌足であるとの説が有力。 墓室を撮影。
46		ダムパークいばきた風の丘ゾーン 安威川ダム下流側直下の公園。2024年7月オープン。ダムから公園へ吹き下ろす風を感じられることから名付けられた。広大な原っぱやせせらぎ水路などがある。 石碑とダムを入れて撮影。
47		塚脇C7号墳(帯仕山の古墳) 6世紀末頃に築かれた直径9.5mの円墳。塚脇古墳群約50基のうちのひとつ。昭和56年に発掘され、人骨の一部、装身具や食器が発見されている。
48		幣久良山御野立所石碑 明治20年、明治天皇が大坂鎮合兵の演習をご覧になるため騎馬で立ち寄られたことを記念する石碑。耳原公園内の標高約63mの丘の上にある。 東側から撮影。南側の石碑と間違えないように。
49		芥川山城跡 三好山の林内(私有地)に石垣、土塁、堀切などが残る。細川高国が築城。1553年に三好長慶が接收し城主となる。三好山山頂からの眺めは抜群。 山頂にある長慶が描かれた看板を入れて撮影。
50		将軍塚古墳 横穴式石室のある円墳。鎌足公古廟、大織冠神社などとも呼ばれる。石室の最奥部には小さな祠が置かれ、藤原鎌足が祀られている。 石室を撮影。
51		福井城跡 山城で、楠木正成により1334年に築かれたとの説がある。廃城は1528年。現在にはほとんどが田畑になっており、周辺に構などの地名が残るのみ。 説明板と、草に埋もれた石碑を入れて撮影。
52		中腹展望台 高槻市立摂津峡青少年キャンプ場の第2キャンプ場の近くにある。眺望よし。 ウッドデッキを入れて南東方向を撮影。
54		岩神神社 成合春日神社のご神体として祀られている巨岩がある。 祠も入れて撮影。
55		おさん茂平恋道中碑 大阪小町と詩われた「おさん」と、丹波からの奉公人「茂平」の許されざる恋の果て、この地で心したとされる。隣には、初田1、2号墳、長ヶ瀬1号墳(移築)もある。
56		浄園寺からの風景 浄園寺は浄土宗の寺院。原地区の田園風景を望める。 西側の石段と帯仕山の遠景を入れて撮影。

得点	写真	紹介文
57		阿武山山頂 茨木市と高槻市の境、武士(もののみふ)自然歩道上にある。標高281.1m。山頂より安威川ダム方面に少し下った鉄塔付近からの方が眺めがよい。 山頂の碑と三角点を入れて撮影。
60		GRAVITATE OSAKA ダムパークいばきたにある2025年3月開業の施設。目玉は、ハンジージャンプなどができる日本最長の歩行者用吊り橋GODA BRIDGE(全長420m)。カフェや売店なども。当初入園料が必要だったが、入園のみ無料化された。
63		萩谷総合公園 土俵 自然あり、幼児用遊具あり、さらに野球場、テニスコート、サッカー場もある公園。オリエンテーリング用の地図も作られている。といえは珍しくはないが、本格的な土俵までであるところは珍しいのでは。
68		牛地蔵 神峰山寺への参道入口に鎮座する牛の姿をした地蔵。京坂越えて荷物を運んだ牛の苦勞をねぎらうため、天保4年(1833年)に地元有志が建立。
71		武士自然歩道と林道の交点 阿武山を経て竜仙滝へ南北にのびる武士(もののみふ)自然歩道と林道車作線の交点。 自然歩道と林道の道標を入れて撮影。
78		高槻の古木 カヤ 高槻の古木のひとつ。ここにはクスノキとカヤがあるが、 カヤを入れて撮影。
93		皇大神宮 車作にある神社。祭神は天照大御神。
95		歯神地蔵 周辺の巨石を大坂城築城に使おうとして断念。その際、秀吉の目にとまった烏帽子形の岩を石工に彫刻させたものがこの地蔵といわれている。江戸期に、ノミ穴のない表面を見た高槻藩主永井直清が歯神地蔵と命名。
77		池 高層住宅が近くにあります。自然豊かな公園です。中央付近に龍?をかたどったオブジェがあります。 南西方向を撮影。
79		表の見方 撮ってほしい写真。撮影者以外のメンバー全員
80		説明文です。 赤字 は重要事項につき注意。
81		【注意】 京都大学防災研究所阿武山観測所の入口の門は通行可。門が閉まっている場合は、山側の門柱の隙間を通行してください。
82		【獣の侵入防止ゲート】 地図に記載したゲートは、扉を開けて通過可能ですが、通過後は 必ず扉を閉めてチェーン/掛けがね/紐/カラビナをかけたください。

2100点満点。制限時刻を過ぎると、1分ごと(秒は切り上げ)に減点100点、30分以上の遅刻で失格です。
20分以上遅刻しそうな場合は次の緊急連絡先に連絡してください。090-4299-2997(よこた)

説明欄に記載のように数量限定でプレゼントがもらえます。
一般客が優先となり、状況によっては待たされることがあります。ご了承ください。